

◆地域活動

モズク漁場の可能性調査（養殖試験）

八重山農林水産振興センター 赤嶺貴史

1. 目的

八重山地区のモズク養殖業は、ここ数年、悪天候や高水温の影響などにより生産が不安定化している。そこで、このような環境の変化に応じた生産が行えるよう、新たな漁場の確保が必要となっている。また、新規漁業者の参入に備えた漁場の拡大も必要となっている。

そのため、昨年度より複数の候補地において養殖試験を実施し、漁場としての可能性を検討してきたところであり、今年度も引き続き、2カ所において養殖試験を実施した。

2. 試験概要

1) 苗床漁場試験

陸上で種付けした網を竹富町小浜島地先（試験区A）に展開して、苗床での芽出しの有無を確認し、苗床漁場としての適性を検討した。

＜試験区A：竹富町小浜島地先＞

環境：水深 1.5 ～ 2 m，砂礫，航路が近くフェリーなどの引波の影響あり

内容：5枚1セットを張り出し

経過：平成 30 年 1 月 5 日沖出し

平成 30 年 2 月 10 日生育確認

平成 30 年 2 月 19 日網回収（試験終了）

協力：八重山漁協組合員 大城洋一氏

2) 本張り漁場試験

既存の苗床漁場で芽出しした網を石垣市崎枝地先（試験区B）に展開して、生育状況を確認し、本張り漁場としての適性を確認した。

＜試験区B：石垣市崎枝地先＞

環境：水深 5 ～ 6 m，砂地

経過：平成 29 年 11 月 25 日苗床へ沖出し

平成 30 年 1 月 22 日芽出しした網を展開

平成 30 年 6 月 7 日生育確認（試験終了）

内容：5枚1セットを張り出し

協力：八重山漁協組合員 高宮城勝夫氏

3. 結果

1) 苗床漁場試験

＜試験区A：竹富町小浜島地先＞

モズクの芽出しは確認できるものの、今年度も昨年度同様に雑藻が網全体に繁茂し、本張りまで持つて行くことができなかった。

2) 本張り漁場試験

＜試験区B：石垣市崎枝地先＞

本張り後、生育確認を行う予定だったが、海況が悪く収穫適期に現場確認を行うことができなかった。6月上旬に現場確認したところ、完熟状態で網から脱落している部分はあるものの、藻体は太く長く生長していたことから、収穫適期には既存漁場と同程度に繁茂していたものと推察された。

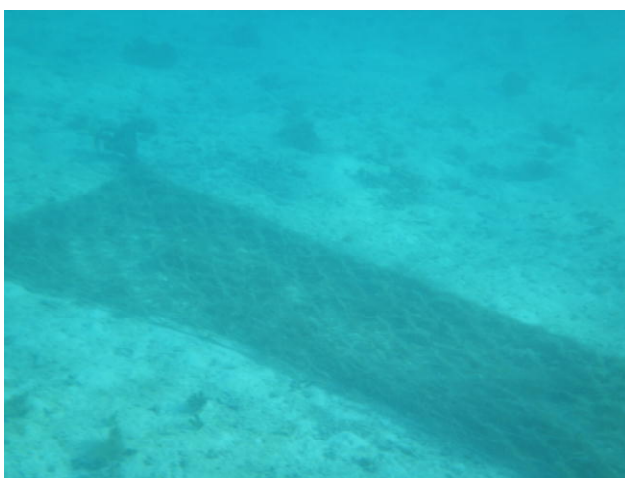
4. まとめ

試験区Aの小浜島地先で実施した苗床漁場試験では、モズクの芽出しが確認できたものの昨年度と同様に雑藻の繁茂によって網の回収に至っており、漁場としての適性は確認できなかった。

試験区Bの崎枝地先で実施した本張り漁場試験では、時期を逃したために収穫をすることはできなかったものの、モズクが太く生長することが確認でき、漁場として利用できる可能性が高いと判断された。

試験区A: 竹富町小浜島地先

1	N24° 20' 57.060" E124° 00' 21.300"
2	N24° 20' 55.800" E124° 00' 17.400"
3	N24° 20' 52.620" E124° 00' 17.400"
4	N24° 20' 53.340" E124° 00' 21.000"



漁場の様子



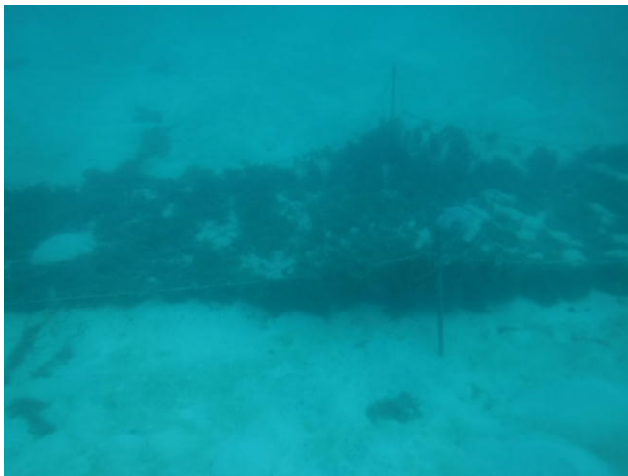
網にびっしり繁茂した雑藻



回収した網（2月19日）

試験区B: 石垣市崎枝地先

1	N24° 25′ 05.400″ E124° 05′ 24.240″
2	N24° 25′ 02.520″ E124° 05′ 18.240″
3	N24° 25′ 50.760″ E124° 05′ 19.320″
4	N24° 24′ 52.680″ E124° 05′ 25.860″



張り出した網（一部）



網の様子（拡大）



熟が進み網から脱落している様子



網を回収（6月7日）